

各 位

会 社 名 株式会社トラス・オン・プロダクト
代 表 者 名 代表取締役社長 藤 吉 英 彦
(コード番号6696 東証グロース)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 青 柳 貴 士
電 話 番 号 045-595-9966

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2023年3月7日に公表いたしました2024年1月期（2023年2月1日～2024年1月31日）の業績予想を修正いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 2024年1月期の通期業績予想値の修正（2023年2月1日～2024年1月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） (2023年3月7日発表)	百万円 542	百万円 11	百万円 8	百万円 8	円 銭 1.94
今回修正予想（B）	308	△76	△81	△81	△16.99
増減額（B－A）	△233	△88	△89	△89	—
増減率（％）	△43.0	—	—	—	—
（参考）前期実績 (2023年1月期)	496	△6	△15	△16	△4.34

2. 修正の理由

当社は、過去からの BtoB 市場に向けた単なるモノの販売から脱却し、成長方針に掲げる BtoB 市場に向けたモノづくりを基盤とした SaaS 月額課金型サービスを当社の主力事業とすべく、経営資源をその事業へ集中し事業転換を図ってまいりました。このような状況の中、新ビジネスである流通小売店舗を対象とした DX 店舗活性プロダクト「店舗の星」や AI による電力削減ソリューション「AIrux8」の SaaS 月額課金型ビジネスの引き合いが増加し、新しい事業の柱として育って来たことから、今後の大きな成長を見込み経営資源を本事業に投下し推進してまいりました。

各プロジェクトの進行は着実に進んでいるものの、最新技術を使った唯一無二の新しいソリューションで

あることや、様々な取引先様よりご要望を頂いているプロジェクト規模も非常に大きく、より着実な確認ステップを踏みながら進行させる方針といたしました。そのため、TRaaS 事業での複数の大型プロジェクトの進行につきましては、当初の予想よりも多くの時間を要していることから、TRaaS 事業において見込んでいた売上高のうち、38百万円が来期以降にその導入がずれ込む可能性が高くなったこと、また、第4四半期に見込んでいた88百万円の案件が取引先様の意向により再検討となり保留となったことから、TRaaS 事業の売上高は81百万円となる見込みとなりました。

また、受注型 Product 事業においては、当事業年度の下半期に見込んでいた STB のプロジェクトの一部が取引先様都合により中止となったことから売上高は109百万円減少し、93百万円となる見込みです。テクニカルサービス事業は、当初計画どおり堅調に推移しており、売上高は133百万円となる見込みです。

上記の要因により、売上高は当初の計画から233百万円減少となる見込みです。利益面においては、売上高減少に伴い売上総利益が減少となりますが、販売費及び一般管理費は、当初計画していた人件費及び広告宣伝費の支出を抑えると共に、業務効率化による経費削減を実施し42百万円減少する見込みであることから、営業利益、経常利益、当期純利益を上表のとおり修正いたします。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、予想数値と異なる場合があります。

以上